

特集：粉じん爆発・火災安全研修へのお誘い

## 粉じん爆発・火災安全研修（初級）へのお誘い

Invitation to the Induction and Training Course for Safety against Dust Explosions and Fires

社日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会 土橋 律  
Ritsu DOBASHI

社日本粉体工業技術協会粉じん爆発委員会では、粉じん爆発災害・火災防止のための実務者研修を、本年3月の試行研修を経て、本年11月より協会の教育事業の一環として本格的に実施することとなり、粉体技術誌の紙面を借りてご紹介させていただくことになりました。皆様には積極的にご参加いただき、本安全研修をご活用いただくようご案内申し上げます。

この特集記事では、研修の目的と内容をご理解いただき、より有効に研修をご活用いただくために、以下の記事を掲載します。

1. 研修へのお誘い（本稿）
2. 研修の目的と構成
3. 講義の概要
4. 第1回研修受講者の感想
5. 第1回研修アンケート結果
6. 研修（11月12、13日開催）のご案内

さて、近年では新たな機能性を求めて新しい素材が開発され、また高機能性を求めて微粉化が進行するなど、粉じん爆発・火災の危険性が增大しているように思われます。事実、粉じん爆発災害統計でも新素材の爆発災害が顕著にみられるようになり、減少傾向であった爆発災害発生件数も底を打ち増加に転じている感があります。

一方近年特に、企業の社会的責任が厳しく問われるようになり、ひとたび爆発・火災事故を起こすと企業の存続に影響を与えかねない状況に置かれたり、市場占有率の高い企業では事故によって社会全体の活動にまで影響を及ぼす事態も懸念されるようになってきています。

このような状況においては、爆発・火災事故の撲滅を目指すことが企業の社会的な責任といえるのではないのでしょうか。そのためには、これまでのような高度専門家の養成だけでなく、現場作業

者や技術者はもとより、広く一般の社員の安全に対する認識や、安全を迫及する姿勢を高めることが極めて大切と考えます。つまり、特定の人の知識や認識だけでは、これ以上の安全レベルに到達することはきわめて困難です。特に、粉じん爆発・火災については、危険性の認識が広く行きわたっているとは言いがたいと思われまふ。事実、3月の研修で爆発の映像を見ただけで認識が大きく変わったという驚きの言葉を多くの受講者からいただいています。また、粉じん爆発・火災の危険性は、粉じんの材質だけでなく、粒径や使用条件などに強く依存するため、画一的な安全対策や安全規制があてはめにくく、プロセス・装置ごとの自主的な安全管理が大変重要となります。そういった意味でも、関係者の粉じん爆発・火災に対する安全教育は重要課題であるといえます。

また、メーカーにおいても、安全装置はユーザーの希望によって取り付けるものという受身の姿勢では、今後は問題を生じかねないように感じます。爆発の悲惨さ、発生したときの社会的責任、技術とその経済性、等々についてユーザーにきちんとした説得力のある説明ができる専門家の養成は欠かせません。経済性の高い安全装置の設置を積極的に推奨できる人材の確保は死活問題になりかねないと思います。さらに、ユーザー・メーカーをとわず、社員全体の安全に対する関心・認識の程度が企業の信用度を高めることになると考えます。

粉じん爆発委員会は、測定法規格の整備に加えて、講習会開催や専門技術書の出版など、安全教育、安全啓発活動を委員会活動として実施してきました。これらの講習会やセミナーには大変多くの方々に参加いただき、現場からの強いニーズがあることを感じてきた次第です。しかし、これまでの講習会やセミナーは特定のテーマを設定して実施したものであり、粉じん爆発・火災の安全に

ついて基礎から系統的に学ぶための機会の提供は行っていませんでした。そこで、このたび、業界の安全認識の底上げと基礎から系統的に学ぶ機会として、まず、初級者を対象に安全研修を実施することとした次第です。

今秋から実施する安全研修は、(独)労働安全衛生総合研究所と共催で実施することにし、内容もさらに充実させました。

繰り返しになりますが、本安全研修の趣旨をご理解いただき、多くの方にご参加いただき、安全の確保に役立てていただくことをお願いいたします。



どばし りつ  
土橋 律

(社)日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会 委員長  
東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1  
TEL03-5841-7304 FAX03-5841-7313  
E-mail: dobashi@chemsys.t.u-tokyo.ac.jp